



2020年8月5日

各位

## GPIF が採用したすべての ESG 投資指数の構成銘柄に継続選定

- ・ GPIF が採用した国内株式を対象とする 4 つの ESG 指数について、採用当初よりすべての構成銘柄に継続選定
- ・ 世界的な ESG 指数である FTSE4Good Index Series に 18 年連続、MSCI ESG Leaders Indexes に 11 年連続で選定
- ・ ESG リスク耐性を評価する MSCI ESG 格付けにおいて、グローバル製薬企業の上位 9%となる「AA」を獲得

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役会長 CEO：小坂 達朗）は、このたび、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の要素に配慮した国内株式を対象とするすべての ESG 指数について、構成銘柄として継続選定されましたのでお知らせいたします。

### 【GPIF が採用する 4 つの ESG 指数】

- ・ FTSE Blossom Japan Index（2017年7月より運用開始）  
環境、社会、ガバナンスの対応に優れた取り組みを行っている日本企業のパフォーマンスを反映するよう設計されたインデックス。
- ・ MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数（2017年7月より運用開始）  
日本株の時価総額上位 700 銘柄の中から、業種毎に ESG 格付けが相対的に高い銘柄を選別して構築するインデックス。
- ・ MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）（2017年7月より運用開始）  
日本株の時価総額上位 700 銘柄の中から、業種毎に性別多様性に優れた銘柄を選別して構築するインデックス。
- ・ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数（2018年9月より運用開始）  
東証株価指数（TOPIX）の構成銘柄を対象とし、環境情報の開示状況と炭素効率性の水準に着目して設計したインデックス。

当社は、主要な ESG 指数である「FTSE4Good Index Series」に 18 年連続、「MSCI ESG Leaders Indexes」に 11 年連続で選出されており、環境・社会・ガバナンスの観点でその持続可能性が高く評価されています。さらに、MSCI ESG 格付けにおける 7 段階評価のうち、上位から 2 つ目の「AA」を取得しており、将来起こり得る様々な ESG リスクに対して、当社のリスク耐性が相対的に高いと評価されていることを意味しています。

中外製薬は、「すべての革新は患者さんのために」という事業哲学のもと、革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献することで、生命関連企業として積極的に社会責任を果たしてまいります。

以上